

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	今年の桜開花日を予想しよう～旧暦予報士が語る暦と桜の深～い関係～ (緑を楽しむ講座 柏)		
開催日時	2024年2月25日 10時～12時		
開催場所	柏市あけぼの山農業公園講習室	一般参加者	14名

活動概要

「今年の桜開花日を予想しよう ～旧暦予報士が語る暦と桜の深～い関係～」と題して、桜開花の仕組みと開花予想の方法の説明を行い、その後、旧暦を使って今年の桜開花日を予想しました。

【桜開花の仕組みと桜開花予想方法】

桜の開花には、「休眠打破」と呼ばれる花芽の目覚めが必要であり、一般的には、その休眠打破の日を2月1日とし、そこから日々の最高気温や平均気温を足し上げ、それぞれ600℃、400℃に到達すると開花するものとして予想しています。それでは予想精度が低く、また一般人には日々の最高気温や平均気温が予想できないので、現実的には使えません。そこでこの講座では、今回発見した「旧暦を使った桜開花予想」を紹介しました。

【旧暦を使った桜の開花予想(京都※)】

旧暦を使った桜の開花予想は、19年前の桜開花日を参考に行います(旧暦が19年周期でほぼ同じ日付となることに着目)。その旧暦開花予想のおどろきの精度ですが、過去10年のうち9年で誤差(予想日と実際の開花日の差)がほんの数日以内となっており、ほぼ的中と言っていいでしょう。はずれた1年も(残念ながら旧暦では予想しきれない)エルニーニョの影響と推測され、その年の“はずれ”はやむなしと考えます。

※旧暦は京都を基準に作られているため、京都における桜(ソメイヨシノ)の開花日を予想

【旧暦とは】

現在の暦が太陽の運行のみを基準としているのに対し、旧暦は太陽と月の運行を取り入れた暦(太陰太陽暦と呼ばれる所以)で、日本では明治5年まで採用されていました。

【今年の「桜の開花(京都)」はいつ?】

19年前の桜開花日を参考にした今年の京都の桜開花予想日は3月28日。ただ、過去10年のうちはずれた1年と同じように今年もエルニーニョが活発なため、そのエルニーニョの影響を加味すると、開花予想日は3月20日～26日となります(結局のところ、開花予想日は3月20日～26日、あるいは28日ってこと? それじゃ、開花予想になっていないって…)。
果たしていつ開花しますやら…



F I C 講師：元岡 真也